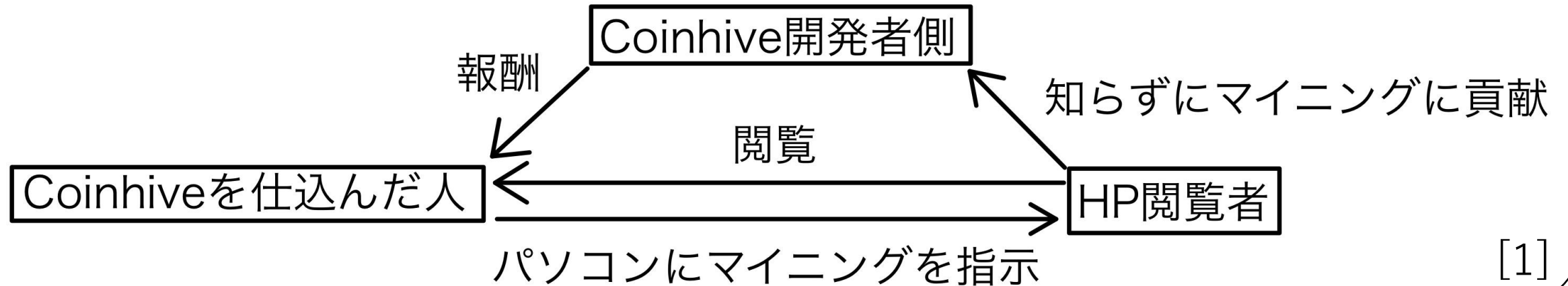


Coinhiveとは

Coinhiveの仕組み



[1]

■Coinhiveの問題点

- **「不正指令電磁的記録」**に当たる可能性あり

■Coinhive設置サイトの摘発

- マイニング参加を**明示していなかった**ウェブサイト運営者を21人検挙[2]

→モロ氏が裁判を起こす

モロ氏の裁判

■裁判の争点

➤Coinhiveは「不正指令電磁的記録」？→「**反意図性**」「**不正性**」の有無[3]

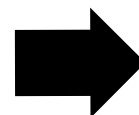
■モロ氏側の主張

➤ユーザーが知らない≠意図しない[4] → **反意図性を否定**

➤×コンピュータの破壊、×情報流出[3] → **不正性を否定**

第1審 無罪

- 反意図性：**有**
- 不正性：合理的な疑いが残る
↑不正なウイルス？



第2審 **有罪**

- 反意図性：**有**
- 不正性：有
↑社会的に許容すべき点無し

現状と課題

■現状

- モロ氏は上告準備中
- Coinhiveは仮想通貨「Monero」の価格暴落によりサービス終了[6]
- 警察はサイバーパトロールを実施[7]
- 設置していることを**明示せずに**マイニングツールを設置
→犯罪になる可能性あり[7]

■課題

- 「不正指令電磁的記録」を**定義する条文が曖昧**
- 処罰が捜査機関の**さじ加減ひとつに委ねられる**危険性あり[3]

参考文献

1. 毎日新聞、「仮想通貨 他人PCで獲得 了解得ず「採掘」初立件」、2018年6月12日、<https://web.archive.org/web/20180612080235/https://mainichi.jp/articles/20180612/k00/00m/040/150000c>
2. ITmediaNEWS、「「Coinhive」訴訟、横浜地検が控訴 弁護士「何が何でも有罪にしたいのか」」、2019年04月10日、<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1904/10/news100.html>
3. 日本ハッカー協会、「【寄稿】コインハイブ事件 意見書ご協力のお願い」、2020年4月6日、<https://www.hacker.or.jp/coinhiveopinion/>
4. 日本ハッカー協会、「Coinhive事件裁判費用の寄付のお願い」、2020年2月7日、https://www.hacker.or.jp/coinhive_innocent/
5. 日本経済新聞、「仮想通貨の無断「採掘」に逆転有罪 東京高裁」、2020年2月7日、<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO55368280X00C20A2CE0000/>
6. ITmediaNEWS、「Coinhive、3月8日にサービス終了 Moneroの価値暴落など響く」、2019年02月27日、<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1902/27/news093.html>
7. 警察庁サイバー犯罪対策プロジェクト、「仮想通貨を発掘するツール(マイニングツール)に関する注意喚起」、https://www.npa.go.jp/cyber/policy/180614_2.html